

地域の動き「認知症フレンドリーなまち鎌倉へ～252人がタスキをつなぎました～」 RUNTOMO+かまくら実行委員会 2019 鎌倉市



11月10日(日)、「RUNTOMO+かまくら 2019」が開催されました。この取り組みは、鎌倉市内に暮らす認知症本人・家族、介護・医療関係者、企業・店舗・団体関係者、市民等の地域の様々な人たちが協力して、つながり、出会い、分かり合うことを促進することで、「認知症になっても安心して暮らしていけるまち鎌倉」を作る目的で行われました。

鎌倉市内3ヶ所(今泉台、腰越、十二所)からスタートした走者たちが、それぞれ事前に設定されたコースを走り、歩き、車椅子などで走行してタスキをつなぎました。この日は認知症ご本人6人が走者としてタスキをつなぎました。応援した人も含めると、総参加者数252人、そのうち認知症のご本人の参加は39名でした。

腰越のスタート地点となった看護小規模多機能聖テレジアから走ったSさん(認知症本人60歳)は笑顔で腰越から西鎌倉、鎌倉山、七里ガ浜、稲村ガ崎、由比ガ浜へとBコースの全行程を走りきりました。

最近長い距離を歩くことに支障がでてきている川名賢次さん(本人62歳)は稲村ガ崎コミュニティスペース IMAICHIに集



まった子どもたちの声援を背に稲村ガ崎公園まで徒歩で走行、次のランナーにタスキをつなぎました。応援してくれた子どもたちには認知症のご本人たちからお菓子のプレゼントもありました。

Cコースを走行した西谷美津子さん(本人72歳)は、イベント直前に起きた体調不良を早期に克服されて参加。移動時は伴走車に乗りながら走者を応援し、休憩給水ポイントでは車を降りてタスキをつなぐ大役を果たされました。またAコースでは散歩を習慣にされている施設参加者を大慶寺の住職さんが出迎えてくださり、「認知症は他人事ではない、お寺に来る人のなかにもそういう人が多くなるからね」と感想を語ってくれました。RUNTOMO+かまくら2020へ向けて、地域でやさしく楽しく支えあって暮らせる「認知症フレンドリーなまち鎌倉」へ向けて、素晴らしいスタートとなりました。(IN)



地域の動き「神奈川認知症ソフトボール大会で認知症本人たちが真剣勝負！」 神奈川認知症ソフトボール大会実行委員会 藤沢市葛原スポーツ広場



11月16日(土)、藤沢市の葛原スポーツ広場で、DKリーグ・神奈川認知症ソフトボール大会が開催されました。試合は3対1で、Aチーム(神奈川南部・湘南・県西)がBチーム(神奈川北・相模原・横浜)に勝利しました!

認知症になっても、病気が進行していてもスポーツを楽しもう! そんな思いから県内各地から集まった39人(認知症の本人14人)が汗を流しました。

試合は接戦になり5回までは1対1の攻防になりました。両チームとも真剣勝負をしているのですが、ヒットを打ったのにファーストベースを踏まずに走ってしまったり、ランナーなのに内野フライをナイスキャッチしてしまったり、ちょっとした勘違いからそんなプレーが起きるのですが、そんな審判

や選手やサポーターの想像を超えるようなプレーが起きても、すぐに気を取り直して、みんな真剣にプレーを続けているのでした。まるで、アクシデントが起きてもそれを楽しんでいるようにも思えてきます。それがこの大会の良さなんだという参加者の声も実際あります。

大会の開催には、藤沢市家庭婦人ソフトボール連盟のみなさんが全面的に協力してくださっています。グラウンド整備から審判員の派遣だけでなく、きめ細かなサポートをいただき本当に感謝です。

来年3月22日に富士宮市で行われるDシリーズ・全日本認知症ソフトボール大会に参加する選手サポーター、応援参加の方も募集しています。富士山の麓で思いっきりプレーしてみませんか!(IN)

「DKリーグ・ソフトボール大会に参加して」 川名裕美

毎年3月に全日本認知症ソフトボール大会(通称Dシリーズ)が静岡県富士宮市で開催されています。主人と一緒に毎年参加し、毎回楽しみにしています。このDシリーズがきっかけとなり、神奈川でもチームを作って楽しもう、ということで神奈川メンバーによる「DKリーグ(Kは神奈川のK)」が3年前に発足。『参加することで元気になる!仲間とつながる、楽しむ!』をモットー

に、毎年秋に大会を実施。今年も11月16日(土)藤沢市葛原スポーツ広場にて開催されました。Aチーム(神奈川南部・湘南・県西)対Bチーム(神奈川北・相模原・横浜)で試合を行いました。当日は11月とは思えないほど暑く、体を動かすと汗ばむほどの快晴でした。実行委員長の挨拶に続き、選手宣誓、昨年の勝利チームBチームより優勝カップ返還。いよいよ試合スタート!90分間の熱戦が繰り広げられました。ヒットを打ったものの、1塁を通らず2塁3塁方向へ行ってしまうアウトになったり、守備でも珍プレー続出。でもファインプレーもたくさんありました。特別ルールのもと主人にも出場の機会を与えてもらいました。試合は3対1でAチームの勝利。主人は日々できないことが増えてしまったけれど、仲間と一緒に何かを楽しむ、これを大切にこれからも過ごして行こうと思います。



第1回大会の優勝杯を手にした時の写真